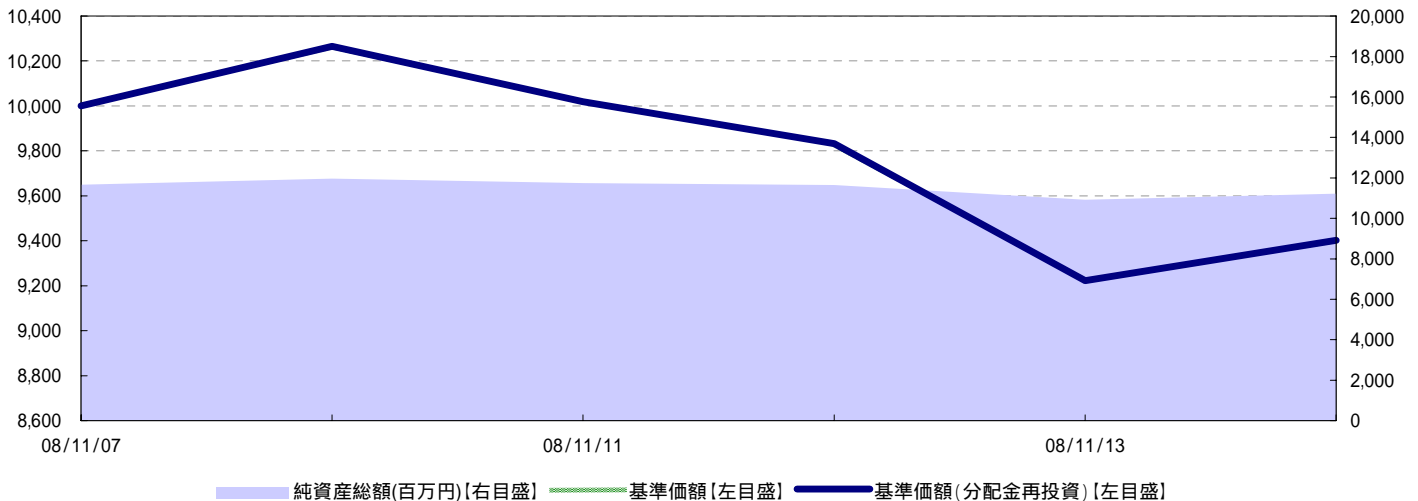


ブラデスコ ブラジル債券ファンド(分配重視型)

追加型株式投資信託 / バランス型

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.575%(税抜1.5%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しており、追加設定時信託財産留保額等は考慮しておりません。

ファンドの現況および騰落率

| | 2008/11/14 | 前週末 | 前週末比 | 騰落率(前週末比) |
|------------|------------|---------|-------|-----------|
| 基準価額 | 9,402円 | 10,000円 | -598円 | -5.98% |
| 純資産総額(百万円) | 11,225 | 11,656 | | |

・ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

運用資産構成

| | 2008/11/14 | 前週末 | 前週末比 |
|------------|------------|-----|------|
| 実質外国債券組入比率 | 96.83% | - | - |
| 内 現物 | 96.83% | - | - |
| 内 先物 | 0.00% | - | - |
| 短期金融資産 | 3.17% | - | - |

・比率は純資産総額に対する割合です。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
基準価額および分配金は1万口当たりです。

4ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

ブラデスコ ブラジル債券ファンド(分配重視型)

利回り・デュレーション・平均残存期間

| | |
|---------|--------|
| 最終利回り | 15.09% |
| デュレーション | 1.37年 |
| 平均残存年数 | 2.13年 |

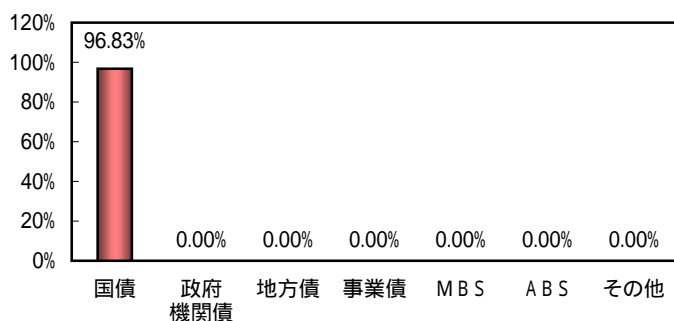
- ・数値は、債券現物部分について計算しています。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・平均残存年数は、各債券の残存年数を債券の額面で加重平均したものです。

債券の格付分布

| 格付種類 | 比率 | 銘柄数 |
|-------|--------|-----|
| AAA格 | 0.00% | 0 |
| AA格 | 0.00% | 0 |
| A格 | 0.00% | 0 |
| BBB格 | 96.83% | 5 |
| BB格以下 | 0.00% | 0 |
| 無格付 | 0.00% | 0 |

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は以下の通りです。
 - ・AA格(AA+, AA, AA-, Aa1, Aa2, Aa3)
 - ・A格(A+, A, A-, A1, A2, A3)
 - ・BBB格(BBB+, BBB, BBB-, Baa1, Baa2, Baa3)
 - ・BB格(BB+, BB, BB-, Ba1, Ba2, Ba3)
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付(国の発行体格付)を採用しているものがあります。
- ・格付分布は、S & P社、Moody's社のうち最も高い格付を表示しています。

種類別組入比率



- ・比率は純資産総額に対する割合です。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
基準価額および分配金は1万口当たりです。

4ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

ブラデスコ ブラジル債券ファンド(分配重視型)

マーケットコメント

市況動向

11月7日(設定日)～14日のブラデスコ ブラジル債券ファンド(分配重視型)は、11月14日の基準価額が9,402円と、設定日比598円、5.98%の下落となりました。基準価額の下落は、為替市場の下落が主な要因です。為替、金利動向については、以下の通りです。

< 為替動向 >

11月7日から11月14日にかけて、レアルは円に対して4.56%下落。米保険大手AIG向けの救済案修正や米自動車大手の業績悪化、米家電量販店の破綻などを背景に世界的にリスク回避傾向が強まりました。また、ブラジルでは10月には46億ドルの外貨が純流出し99年1月以来の規模に上ったことなども嫌気されました。ブラジル中銀のインフレ指標であるIPCAインフレ率が減速傾向から加速に転じたことや同中銀がスポット為替市場や為替スワップ市場で引き続きドル売り為替介入を実施したことなどがレアルの支援材料となったものの影響は限定的となりました。

< 金利動向 >

ブラジルレアル建て国債の代表的な指数であるIRF - M指数は前週比0.50%上昇。債券市場は、乱高下した株式市場や為替市場と比較すれば落ち着いた展開で、底堅く推移しました。ブラジル財務省による今週の追加発行は割引国債を中心に先週と同水準の約20億レアルとなりました。

ブラジルでも金融再編の動きが見られつつあります。国内大手金融機関イタウとユニバンクの合併が報じられ、株式市場で好感された一方、政府系金融機関最大手がブラジル東部の中小州政府系の金融機関を吸収合併するなど、金融混乱を予防するため取り組みが続いています。

運用方針

当ファンドは主として、ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、ブラジルレアル建てのブラジル国債を中心に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

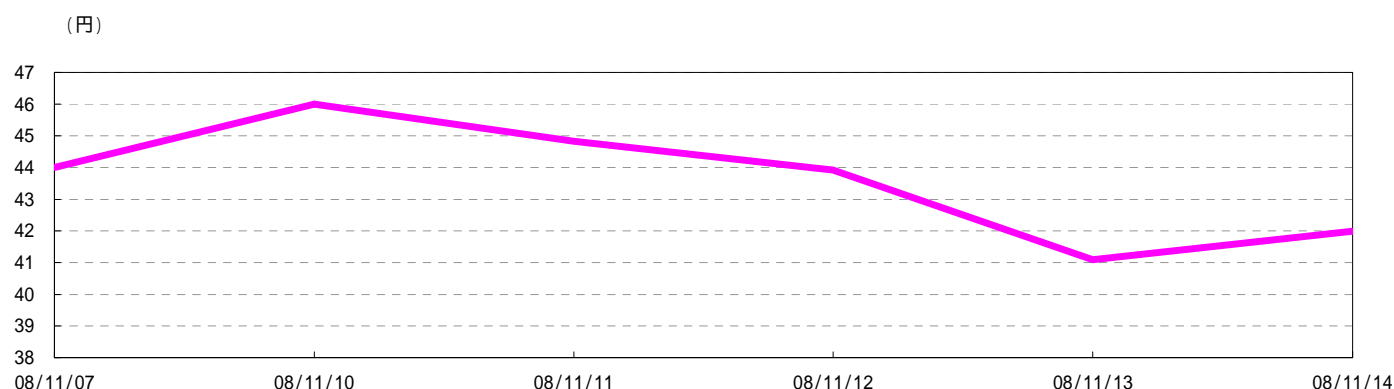
なお、11月14日現在での実質の外国債券の組入比率は、96.83%となっております。

引き続き当該マザーを高位に組み入れることにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用する方針です。

以上

【参考】為替市況の推移

【ブラジルレアル / 円レート】



・シティバンクの公表レート

コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。なお、市場の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

4ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

ブラデスコ ブラジル債券ファンド(分配重視型)



追加型株式投資信託 / バランス型

ファンドの特色

- ・主として、ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、ブラジルリアル建てのブラジル国債を中心に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。
- ・ブラデスコ・アセットマネジメントにマザーファンドにおける債券等の運用指図に関する権限を委託します。
- ・原則として、為替ヘッジを行いません。
- ・「分配重視型」と「成長重視型」があります。

商品概要

- 信託期間 : 2008年11月7日から2018年10月9日まで
 決算日 : 原則として、毎月8日(休業日の場合は翌営業日)
 参考指数 : IRF - M指数(円換算ベース)
 お買付け申込み : 原則として、いつでもお買付け申込み、換金のお申込みができます。ただし、サンパウロ証券取引所の休業日および中途換金 : サンパウロ、ニューヨークの銀行の休業日に該当する日については、お買付・中途換金のお申込みができません。
 申込価額 : 販売基準価額(取得申込受付日の翌営業日の基準価額 + 追加設定時信託財産留保額)
- 【お客さまには以下の費用をご負担いただけます。】**
- 申込時に直接ご負担いただく費用
 追加設定時信託 : 取得申込受付日の翌営業日の基準価額 × 0%
 財産留保額 : (ブラジル債券への投資に際して行う為替取引に課される金融取引税に相当するものとして委託会社が定める。料率は今後変更になる可能性があります。必ずしも、金融取引税の税率変更と同じタイミングで変更されるわけではありません。)
- 申込手数料 : 申込価額 × 3.15% (税抜3%) を上限として販売会社が定める手数料率
 換金時に直接ご負担いただく費用
 信託財産留保額 : なし
 保有期間中に間接的にご負担いただく費用
 信託報酬 : 純資産総額に対して、年率1.575% (税抜1.5%)
 その他費用(*) : 売買委託手数料、監査報酬、組入資産の保管等に要する諸費用、先物取引・オプション取引等に要する費用等
 (*「その他費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。
- なお、お客さまにご負担いただく費用等の合計額については、お申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
 (課税関係) 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金(解約)時および償還時の個別元本超過額に対して課税されます。
 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

【お申込不可日について】2008年の該当日は、11月11日、11月20日、11月27日、12月24日、12月25日です。なお、休業日は変更される場合があります。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

当ファンドは、主に公社債を実質的な投資対象としますので、金利変動により組入公社債の価格が下落すること、組入公社債の発行者の倒産や財務状況の悪化等の影響により組入公社債の価格が下落すること等で当ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、実質的に外貨建資産に投資しますので、為替の変動により損失を被ることがあります。当ファンドは、新興国通貨建て公社債に投資するため、先進国への投資を行う場合に比べ、為替の変動が大きくなる可能性があります。したがって、投資家のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。当ファンドの主な投資リスクとして、組入公社債の価格変動リスクや為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク等があります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「基本情報 リスク」をご覧ください。

投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。/ 金融商品取引業者以外の金融機関は、投資者保護基金に加入していません。/ 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。/ 投資信託の取得のお申込みを行う場合は、販売会社よりお渡りする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。/ 投資信託は、書面による契約の解除(クーリング・オフ)の適用はありません。/ 運用により信託財産に生じた損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。

当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。/ 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。/ 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。/ 当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

(お申込みの際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

設定・運用 ... 三菱UFJ投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会 (社)投資信託協会 / (社)日本証券投資顧問業協会
 <お客様専用フリーダイヤル> 0120-151034(毎営業日の9:00~17:00)
 <オフィシャルサイト> <http://www.am.mufig.jp/>
 基準価額・分配金をメール配信 <http://k.m-muam.jp/a/1/3>
 (*メール配信対象外ファンドもあります。)

ブラデスコ ブラジル債券ファンド(分配重視型)

当ファンドにかかるリスクについて

当ファンドへの投資にあたっては、主に以下のリスクを伴います。このため、お申込みの際は、当ファンドのリスクを認識・検討し、慎重に投資のご判断を行っていただく必要があります。

| | |
|------------------------|---|
| <p>市場リスク</p> | <p>(価格変動リスク) 当ファンドは、公社債を実質的な主要投資対象としており、公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け公社債の価格が下落した場合には基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p> <p>(為替変動リスク) 実質的な主要投資対象である海外の公社債は外貨建資産ですので、為替変動の影響を受けます。そのため、為替相場が円高方向に進んだ場合には、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p> |
| <p>信用リスク</p> | <p>信用リスクとは、有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となること等をいいます。当ファンドは、信用リスクを伴い、その影響を受けますので、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p> |
| <p>流動性リスク</p> | <p>有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。例えば、組み入れている公社債の売却を十分な流動性の下で行えないときは、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p> |
| <p>カントリーリスク</p> | <p>新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込む可能性が高まる場合があります。</p> |
| <p>留意事項</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・当ファンドは、一定の運用成果を保証するものではありません。 ・当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、当ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、当ファンドの基準価額に影響する場合があります。 ・当ファンドは、原則として毎期収益分配を行う方針ですが、毎期一定水準の収益分配金の支払いを保証するものではなく、収益分配金額は運用実績に応じて変動します。なお、分配対象収益が少額の場合には、収益分配を行わないことがあります。 |

4ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

